

# Janmadin kī Jay Jay!

## ジャンマディン・キー・ジェイ・ジェイ！

グルマーイの誕生日のお祝いの報告  
シュリー・ムクターナンダ・アーシュラム  
2016年6月23-30日

### 第12部

#### 私たちの価値を認め、私たちの責任を受け入れる ナンダニ・バールガヴァ

6月28日の朝はしめやかな雨が降っていました。前日の嵐の後で空気は新鮮に感じられました。

私たち——多くの訪問セーブァイトとスタッフ——は、日課である昼のナーマサンキールタナとアーラティーのためにシュリー・ニーラーヤにやって来ました。お祝いの活気はいまだにとっても明白でした。子どもたちはホールの入り口で元気に話し、参加する人たちは、ここ何日かの体験や洞察を隣の人と話していました。

すると、グルマーイがホールに入って来たのです。私たちは一斉に立ち上がり、グルマーイを熱く迎えました。私たちは、グルマーイと再びお祝いができるのです！

子どもや 10 代の若者たちと少し話した後、グルマーイは椅子に座りました。彼女は、ほほ笑んで、最近ここに着いたのは誰かと尋ねました。

ミュージシャンの一団の歌手の一人が、妻と一緒に座っている生後 14 カ月の娘を紹介しました。「これが娘にとって初めてのアーシュラムです」と、彼は喜びに満ちて言いました。

次に、タルナ・ポーシャナ部門の長であるシュバ・デ・オリベリア・トンプソンが、私の家族を紹介しました。私たちは前日にカリフォルニア州のサンディエゴから着いたのです。グルマーイは私たちを歓迎し、私の 10 代の息子に彼が最近参加したラクロスの試合について尋ねました。

「あまりうまくはいきませんでした」と、彼は言いました。「でも、それでも楽しかったです！」皆が彼の率直さと性格の良さを認めて、一緒に笑いました。

紹介が終わると、グルマーイはミュージシャンの一団のもう一人の歌手であるランジャン・ブラツコフスキに、チャンティングについて紹介するように促しました。ランジャンは、「ジェイ・ジェイ・ヴィッターレー」をバイラヴィー・ラーガでチャンティングすると話しました。

私たちは、ヴィッタール神の姿をとった神聖なる者をたたえて、ナーマサンキールタナを始めました。「ジェイ・ジェイ・ヴィッターレー！」と、私たちはチャンティングしました。「ジェイ・ジェイ・ヴィッターレー！」チャンティングは快活で、歓喜と敬愛に満ちあふれました。私たちの声は溶け合い、敬愛するグルと共にいる喜びの一つ

になりました。チャンティングの最後に、「ジョータ・セー・ジョータ・ジャガーオー」を歌いました。それから、神聖な静寂の中に少しの間休息しました。

グルマーイはほほ笑み、その日の美德を、声をそろえて言うようにと言いました。

「価値があること！」私たちは声を上げました。

「よくできました」と、グルマーイは言いました。「そして、皆さんが自分に価値があると感じることを望みます」

「はい！」と、私たちは答えました。

そして、グルマーイは私たちに、自分自身の価値をどのように認識するかを話すように促しました。

いくつかの手が、すぐに挙がりました。グルマーイは、まず最初に、カナダから来た 10 代の少年に話すように言いました。彼は立って言いました。「学校で、僕は時々、自分と他の人を比べて、こう考えてしまいます。『僕には価値がない。だってこの人は僕よりテストで良い点を取ったのだから』。でも、僕の両親がいつも強調していることは、他者からの承認や称賛を求めるべきではないし、自分と他者を比べてもいけない、ということです。自己承認は最も良い形の、価値があることの認識だと思います」

「そして、自分を磨き続けること」と、グルマーイは言いました。

少年は答えました。「はい、もちろんです！」

グルマーイはその若者に礼を言い、そして次に、ムンバイからの訪問セーヴァイトのアルティ・シショーディアに話すように促しました。アルティは言いました。「セーヴァーをささげるとき、自分ができることを何らかの形で貢献するとき、私は本当に価値があると感じます」。グルマーイの要望によって、アルティは、20年近くもインドで通訳としてセーヴァーをささげてきたこと、グルデーヴ・シッダ・ピートゥでの教えと学びのイベントや、最近ではシッダ・ヨーガの道のウェブサイトのために、英語とヒンディー語の間の翻訳や通訳をしていることを話しました。私たちは、彼女のセーヴァーへの一貫した取り組みに、拍手喝采しました。

ドイツから来てマルチメディア部門でセーヴァーをささげている訪問セーヴァイトが、次に立ち上がりました。「昨年、私はとてもピアノを習いたくなりました」と、彼女は言いました。「習い始めるには少し年を取りすぎているかもしれない、と思いました。でも、とにかくやってみました。そして、ピアノを弾くことがたくさんの喜びを与えてくれるので、私はとても幸せです。私は、やってみようかと考えるときでさえも、自分にその価値があると感じる必要があると気づきました」

グルマーイは、体験を話してくれた皆に感謝をして、私たちに、一日を通して価値があることのしるしを探すように促しました。グルマーイは、昨日、完璧なVの形の雲を見て口にしたことを私たちに話しました。「ああ、Victory（勝利）のV」。グルマーイと一緒にいたセーヴァイトが答えました。「はい、そして Vigilance（注意

深さ)の V、今日の美德です！」自然にはたくさんのサッドグナ・ヴァイバーヴァのしるしがあると、グルマーイは私たちに説明しました。

それからグルマーイは、「ジャンマディン・キー・ジェイ・ジェイ！」のお祝いに元気に参加し、理事たち皆に団結をもたらした少年のテージャスについて話しました。グルマーイは、リラヴァティ・スチュワートに週末の出来事について話すように頼みました。

「土曜日に、テージャスと私は理事たちと昼食を共にしました」と、リラヴァティは話しました。「テージャスは理事の一人に尋ねました。『“理事”とはどういう意味なのですか？』そこで、理事の一人が、『任されている』こと、何かに『責任を持つ』という意味があることを説明しました」

リラヴァティは、テージャスが「責任」という言葉がよくわからなかったこと、なぜなら大人が責任を重荷という意味で話しているのを聞いていたからだということを詳しく話しました。彼は、「大人たちは頭に手をやって、『古き良き日を覚えているかい？ 何にも責任がなかった頃のことを』と言います」と言いました。そしてテージャスは理事たちに、まだ責任など持ちたくない、子どもであることを楽しみたい、と言ったのです。

「そして楽しむこと」と、グルマーイは言いました。テージャスは強くなずきました。

グルマーイはリラヴァティに礼を言い、そして言いました。「その話を聞いて、私は、あなたたち皆が『責任』という言葉がどれほど美しいかを学ぶ必要があると気づき

ました。私はこの言葉を愛して育ちました。そして、サッドグナ・ヴァイバーヴァのどれであっても、この『責任』という言葉に持ち込むとき、あなたはそれを楽しいものにする事ができるのです」

サッドグナ・ヴァイバーヴァ——神聖な美德——のどれかを私の責任に持ち込む、というグルマーイの言葉を熟考したとき、私は爽快な洞察を得ました。美德は、私たちの日常生活における責任に向き合うための具体的な方法を与えています。たとえば、私たちは、家族、仕事、そしてコミュニティへの責任を、義務感からではなく、愛と寛容さ、価値があると感じながら果たすことができます。これは結果として、私たちの責任を果たすという体験を変容させることができます。私たちはもっと楽しむことができたのです。そのようにして、美德は私たちの行動を通して現れ、周りの人たちを向上させ、そして、私たちは責任の中に本来ある素晴らしい美を体験することができるのです。グルマーイはこの出来事の話を通して、なんと奥深い教えを私たちに与えていたのでしょう。

サッツァングは、美しい旋律の「サッドグルナートウ・マハーラージ・キー・ジェイ！」で終わりました。

グルマーイはマダヴィ・マヴィラパリに、私たちが昼食のためにホールを出ていくにあたって歌を歌うように促しました。

マダヴィはほほ笑んで、カビールによるバジャン「マーヤー・マハー・タグナ・アンジャニ」を歌うと告げました。このバジャンの中で、カビールはこの世界のあらゆるものの姿をとる至高なるシャクティ、神聖なる者の創造の力をたたえていると、

彼女は説明しました。マダヴィがアカペラで歌う声は優しく澄み切っていました。彼女は、この歌をグルマーイに心からささげること完全に没頭しているようでした。

マダヴィが歌い終えたとき、グルマーイはマダヴィに素晴らしい愛を込めてほほ笑み、そして言いました。「ボハトゥ・スندگان」——非常に美しい。

次に続く...